

鹿児島大学病院

研修医 児島 奈弥 2013年11月

鹿児島大学病院初期臨床研修医2年目の児島奈弥と申します。

2013年11月の1ヶ月間、出水で地域医療研修をさせていただきました。

私は高校を卒業するまでは鹿児島に住んでいましたが、出水を訪れるのは今回の研修が初めてでした。移動する車から見える田んぼや山などの自然の風景に癒やされ、夜は星がとてもきれいに見えることに感動しました。また、ちょうど鶴が飛来する季節だったので、出水に来た初日に病院のすぐ近くを鶴が飛んでいるのを見て、とても驚きました。

研修は、出水総合医療センターだけでなく、高尾野診療所、野田診療所、大川内診療所、上場診療所、出水保健センター、特別養護老人ホームなど様々な施設で行いました。

院内では、総合内科、小児科を中心に研修を行い、土曜日には救急外来のオンコールも経験しました。私はこれまで、救急外来を含めて、外来で研修したことがほとんどなかったので、初めはとても緊張しました。

総合内科では、採血や画像などの検査を行う前に、問診をしっかり行い、患者さんの訴えや症状から鑑別診断をきちんと考えることが印象的でした。

日頃つい検査結果に頼りがちになっていることを反省しました。必要な情報を患者さんから聞き出し、そこから考えられる鑑別診断をあげることの重要性を実感しました。

診療所では外来での研修を中心に、外来患者さんのエコーや内視鏡も教えていただきながら行いました。外来には様々な疾患の患者さんがおり、幅広い知識や技術をもつことの重要性を感じました。

往診にも同行させていただき、様々な家庭環境に驚くこともありましたが、患者さんたちが往診を待っている姿を見て、先生方を本当に信頼しているということが伝わってきました。

先生方は病気の話だけでなく、患者さんの仕事や家庭のことをよく記憶して話をしており、それが信頼関係につながっているのだろうなあと感じました。

1ヶ月と短い期間の研修でしたが、これまで研修した病院では経験できなかったことをたくさん経験することができました。地域医療の現場では、中心部の病院と比べて患者さんとの関係は密接で、医学的な問題だけではなく、家庭環境や社会的背景を理解することが大切だと感じました。

この1ヶ月間で経験したこと、学んだことを活かし、医師として成長していけたらと思います。

最後になりましたが、指導して下さった先生方、コ・メディカルや事務の方々、今回の研修を支えて下さったスタッフの方々に深く御礼を申し上げます。ありがとうございました。